

# 2020（令和2）年度 事業報告書

社会福祉法人山鳩会  
みどりの森

## 1. 理念・方針

### （1）法人理念

#### ①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

#### ②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

#### ③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

#### ④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、お互いにメリットのある関わりを築いていく。

### （2）基本方針

#### ①地域自治会と協力し、得意とする事で貢献し、有益な社会資源として相互利益のある関係を築く。

→・コロナ禍で、地域自治会自体主催の行事が中止となり、運動・イベントを通じての交流は今年度なかった。自主製品販売、バザー品販売、地域回収等は、コロナ禍で一時中断したものの再開し、地域との結びつきを残している。地域清掃は、協力・貢献する機会がほとんどなかった。

・なかなか地域の人と交流する機会がなかったが、となりの家の駐車場の落ち葉を片づけたり草むしりをして貢献することができた。

#### ②自主製品を地元企業と関わりながら商品作りを行い、多くの人に関われるよう育てる。

→・後半、ようやく豊島屋酒造の売り上げが増え、酒蔵のホームページ、SNSで商品を掲載いただき、協力できるようになった。またメディアで取り上げられた事で地元企業と関わった商品が注目される機会ができた。

#### ③地元の畑で地域の人と交流しながら一連の農作業を体験し、学ぶ。

→・なかなか地域の人と交流する機会がなかったが、少人数ではあるが、後半定期的に交流できるようになってきた。また今年はじゃがいもと里芋がたくさん収穫でき、保護者に喜ばれた。

#### ④健康の維持・増進と病気の早期発見に努める。

→・体重・血圧などの定期的な測定や、秋にずれこんだが健診を通して早期発見、治療に結び付けることができ、充実しつつある。

・眼科検診を新たに実施することができなかったが、細かい作業があるので今後是非行いたい。

・1名病気になった利用者があった。地域の関係機関と協力してケアにあたっている。

・コロナ感染対策を徹底したおかげで体調管理は例年以上に行ったが、自粛の影響か、体重増加の傾向にある。

⑤現在企業就労している人の支援と共に、希望者に企業実習、短時間就労等の社会参加の機会を提供する。

→・再就労者があった他、初めての短時間就労を提供できた。就労者は企業より高評価を得ている。セブンイレブンの企業実習も1名できて継続中。また施設外就労の場も作る事が出来た。

⑥みどりの森の今後について、山鳩会全体の中で求められる役割を考え、協力していく。

→・常勤職員を中心に施設内で話し合い、法人の経営改革PTに意見を出す事が出来た。

・今のみどりの特色を残せるようにしたい。

(3) 中期目標（令和2年度～令和3年度）

施設の特色として、グリーンバンド、自主製品、畑作業をそれぞれ充実させていく。また、みどりの森の今後について山鳩会全体の中で考えながら、個々のニーズに応えていける道を探していく。

→・コロナ感染の影響ですべてのイベントが中止になるなど社会状況が一変したことで、バンド発表の場と自主製品の販売の場がほとんどなくなった。畑作業は小規模ではあるが動くことができた。みどりの3本柱と、胸を張っていけるようにスケジュールや目標を設定し1つ1つきちんちん行っていきたい。

・移転という方向が出てきたので、今後も利用者ニーズを探っていきたい。

## 2. 施設概要

(1) 施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）

(2) 利用定員 31名（利用者数34名）

(3) 開所年月 平成21年4月

(4) 施設規模 延床面積 178.86㎡

建物構造 鉄骨造（地上2階1階使用）

賃貸区分 （土地）民間賃貸 （建物）民間賃貸

## 3. 職員構成

(1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名
サービス管理責任者	1名（兼務）
支援員（常勤職員）	4名
保育士（常勤職員）	0名
調理員（常勤職員）	0名
事務員（非常勤職員）	1名
支援員（非常勤職員）	8名
保育士（非常勤職員）	0名
調理員（非常勤職員）	3名（1名兼務）
看護師（非常勤職員）	0名
理学療法士（非常勤職員）	0名

作業療法士（非常勤職員）	0名
合計	16名

(2) 嘱託

医師（4回／年）	1名
看護師（0回／年）	0名
理学療法士（4回／年）	1名
作業療法士（0回／月）	0名
合計	2名

4. 利用者状況

(1) 障害程度

	1	2	3	4	なし	合計
愛の手帳	1名	11名	15名	7名	0名	34名
身障手帳	3名	2名	0名	0名	0名	5名
精神保健手帳	0名	0名	0名	0名	0名	0名

※身障手帳、精神保健手帳と重複

(2) 年齢構成（平均年齢 36.9歳）

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
男	0名	8名	5名	6名	3名	0名	22名
女	0名	4名	4名	3名	0名	1名	12名
合計	0名	12名	9名	9名	3名	1名	34名

最低年齢 男…24歳 女…24歳 最高年齢 男…51歳 女…78歳

平均年齢 男…36.8歳 女…37.1歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	清瀬市			杉並区	合計
32名	1名			1名	34名

(4) 障害程度区分

区分	1	2	3	4	5	6	未定	合計
人数	0名	3名	7名	8名	7名	0名	9名	34名

(5) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末数	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	408
延べ日数	748	782	748	782	748	748	782	748	782	782	680	782	9,112
延べ人数	703	696	736	748	674	696	748	710	748	729	650	679	8,517
出席率(定員)	103.1	97.6	107.9	104.9	98.8	102.1	104.9	104.1	104.9	102.2	104.8	95.2	102.6
出勤率(現員)	94.0	89.0	98.4	95.7	90.1	93.0	95.7	94.9	95.7	93.2	95.6	86.8	93.5

5. 日課

(1) 月～金曜日

時間	内容
8:30～9:00	朝礼・ウォーキング・ストレッチ
9:00～11:30	作業
11:30～13:00	昼食・昼休み
13:00～15:30	作業
15:30～15:45	清掃
15:45～16:00	終礼・帰宅

(2) 土曜日

8:30～9:00	朝礼・ストレッチ
9:00～11:20	作業
11:20～11:30	作業片付け
11:30～12:00	昼食・終礼・帰宅

※コロナ対策として、緊急事態宣言が解除されるまで、午前と午後の2部制に、また土曜日も密を避けて半数に人数調整を行った。また日常的に昼食時間を11:30～と変更した

## 6. 重点目標

(1) 地域の有効な社会資源としての役割を担う。

- ①日常的に地域清掃に努めると共に、地元自治会と相談し、川沿いの草刈りなど、得意な事で地域住民に喜ばれる事に取り組み、有効な社会資源としての役割を担う。
  - ・地域清掃、川沿いの草刈りなど、地域自治会が自粛の方向に動いた事で、達成することができなかった。大勢でのごみ拾いはできなかったが、資源回収の帰りなどに少人数で地域清掃を実施できた。またひなたの道と共に、諏訪町都営の除草作業を請け負えた。
- ②施設全体でにぎやかに参加し地域の行事を盛り上げながら、グリーンバンドや焼き菓子販売などを通して地域に貢献する。
  - ・すべてのイベントが中止になり、焼き菓子販売もなくなり達成できなかった。
  - ・行事参加はなかったが、ミニバザーを通して地域に貢献できた。
- ③給食の食材調達や外食給食などで地域の店舗を利用することで、地元の特産品や名物に親しみ、消費者としても地域の一員として貢献する。
  - ・コロナ対策ですべての外食を禁止したが、給食に地域のうどんを取り入れた。
  - ・外食はできなかったが、テイクアウト、デリバリー、給食メニューの工夫などで楽しんでもらえるよう努めた。

(2) 健康・衛生

- ①定期健康診断・歯科健診・インフルエンザワクチン接種・歯磨き指導・体重血圧測定その他、婦人科検診（乳がん）を行い、病気の早期発見に努めて家庭と情報を共有し、必要に応じて医療につなげる。また眼科検診を行い、個別支援計画に役立てる。
  - ・眼科検診以外実施できた。検温は帰宅時間に合わせて務めた。
  - ・コロナ対策で健診の時期がズレ、1名病気に気づくのが遅れた利用者があった。地域の関係機関と協力してケアにあたっている。
  - ・診断の結果に伴い再検査等対応できるところまで行えた。改めて早期発見の難しさを感じた。日々の観察、医療との連携を大切にしたい。
  - ・定期健康診断（ひなたの道にて）白十字病院 9 / 15

インフルエンザワクチン接種 11/2

歯科健診 折笠 Dr. 2/25

②感染症予防のため、定期的に消毒し衛生環境を整える。また流行する新たな感染症に対しては情報把握に努め、できる範囲で対策を講じる。インフルエンザ流行の季節には毎朝検温を行ない、健康状態を確認して早期に対策し、拡散防止に努める

→・作業室にアクリル板、食堂のテーブルやレイアウト変更、時間をずらしての昼食、職員立ち合いでの手洗いの徹底、密を避けて福祉センター利用、外作業への日課変更等コロナ感染対策はできる限り行った。特に検温は帰りの時間に合わせて務めた。今後も正しい情報を共有していきたい。

・以前から実施している定時のトイレの消毒も継続でき、結果的にコロナ対策にもなった。

③理学療法士による個々のプログラムの実施等、身体機能の維持向上を図りながら、マッサージや講師を招いての笑いヨガ、ダンスなど心身共にリラックスして日課を楽しむ。

→・マッサージは中止、PTは個々にプログラムを組んで行った。

・理学療法プログラムを個別支援に盛り込み、自主的に実施できた。

④作業開始前に個々の状況に合わせて地域周辺をウォーキング、ストレッチして身体を動かす。

→・朝のウォーキングは取り組みなかったが、日中活動で春・夏は外に出てたくさん歩くことができた。またウォーキングは必要な人に個別に対応した。ハイペースで歩ける人がいたら一緒に行っても良いと思う。なわとびも取り入れたい。

・1月より朝のウォーキングを少人数で再開したが、全体的に運動不足で肥満傾向。

### (3) 作業・就労活動

①自主製品は、現在関わりのある酒蔵や農家など、地元企業との関係を大切にしながら、常に求められる商品作りを意識する。同時に作業手順を見直し、効果的に、より多くの人に関われるよう育てていく。

→・前半はイベント中止や販売先停止で苦戦したが、後半再開したところや、新たに開始できたところがあり、受注が増えてよかった。

・コラボしている地元企業の見学者が増え、より多くの人に宣伝いただけた。

・利用者に効率よく多くの量を作ることか、丁寧に少量ずつ作るか考えさせられた。

・コロナで中止や再開を繰り返しながら、連絡を取り合い良い関係を続けていきたい。

・注文が減ったことで、あまり多くの人に関われなかった。

②現在就労している人が継続して働き続けられるよう関係機関と連携し、フォローしていく。またニーズに応じて外部実習や短時間雇用の開拓・支援を行ない、就労施設とは違った新しい社会参加の形を提供する。

→・良好な関係が築けたと感じる。

・1名休職していた人が職場に復帰することができた。セブンイレブンに実習に出す事ができ、施設外就労も始められて、本人たちの自信になったように感じる。今後も本人、家族、企業と丁寧にに関わり、外部実習や施設外就労を増やしていきたい。

③業者との良好な関係を継続し、安定した工賃収入を得られるようにしながら、現在の利用者と職員の障害特性や年齢に合った作業を改めて選定する。

→・社会情勢が変わり、受注が減って工賃収入も激減した。半面新しい作業を入れる事ができた。利用者全員が関われる作業なので長く続けられるようにしたい。

- ・解除後少しずつ受注が戻ってきたが、収入にはまだつながっていない。新たな作業、形態を見直す機会になった。
- ・コロナの影響で作業量が減少し、安定した工賃とはいかなくなっているが、業者とは良好な関係を維持できている。11月より新規に解体の作業を導入し、試行中。新規箱折りも試行している。

④畑で地域の方々と交流しながら土作りから種まき、草取り、収穫、給食で摂取するまで、一連の農作業を体験して楽しみ、心身の安定を図る。

→・コロナ対策もあり、地域の方との交流はあまりできなかったが、草取りや落ち葉集め、収穫ができた。保護者・他施設に売る経験も大切にしていきたい。

- ・じゃがいも、トマト、ナス、大根、里芋を収穫でき、給食に取り入れる事もできた。畑で土に触れる事で落ち着く人もおり、癒しになったように感じる。

#### 事業所内活動

(単位:円)

	受注・納品先	作業内容	稼働日	参加者	令和元年度収入	令和2年度収入
自主製品	豊島屋・うさと展他	焼き菓子	週2回	10名	976,910	559,460
清掃事業	西武・武蔵野パートナーズ	中央公園清掃	月8回	8名	734,700	747,400
	白十字ホーム	施設内の草取り	6月～10月	8名	82,740	60,780
	久米川1丁目アパート自治会	都営住宅草取り	6月～11月	全員	164,800	311,600
	東村山市	屋外体育施設清掃	月4回	全員	436,000	0
	個人宅	マンション清掃	月2回	4～6名	0	60,000
	社会福祉センター 諏訪町都営自治会	草取り	3回	全員	0	56,000
受託事業	(福)平成の里	封入・シール貼り	随時	全員	740,371	708,103
	(株)新日本包装	箱折り・組み立て	随時	全員	422,982	225,377
	(株)プロメディア	封入・シール貼り	随時	全員	746,651	419,967
	みつばち	付録解体	随時	全員	0	184,591
	(株)新光	ダンボール組立て	随時	全員	45,000	125,000
	(株)エネクスト	封入	随時	全員	23,335	0
	ぼど	ポスティング	随時	全員	48,576	3,557
	Miyoshi	タイトニック	随時	全員	0	45,627
その他事業	市内・近隣地域	古紙・リサイクル品回収	週2～3回	8名	2,017,024	1,284,063
	ミニバザー	リサイクル販売	月2回	8名	446,818	218,127
小計①					6,885,907	5,009,652

#### パート・アルバイト

(単位:円)

	受入先	作業内容	稼働日	参加者	令和元年度収入	令和2年度収入
パート契約	セイコー物流	倉庫業務	週5日	1名	530,235	282,925
パート契約	ハーベスト	給食食器洗浄	週5日	1名	926,349	1,006,776
パート契約	白十字ホーム	下膳	週1日	1名	9,033	77,033
小計②					1,465,617	1,366,734
合計①+②					8,351,524	6,376,386

工賃支払実績

(単位：円)

	総額	平均額	最高額	最低額	パート・アルバイト
4月	327,500	9,632	16,230	2,400	77,788
5月	170,620	5,018	10,880	1,670	55,553
6月	171,210	5,036	8,060	1,000	60,173
賞与	359,000	10,559	14,000	5,000	
7月	350,630	10,313	16,980	2,620	101,493
8月	354,820	10,436	17,960	3,160	110,965
9月	340,060	10,002	18,250	2,710	68,957
10月	353,060	10,384	18,790	2,980	146,996
11月	384,010	11,294	21,020	3,640	158,141
12月	359,330	10,569	19,080	4,210	148,191
賞与	364,000	10,706	14,000	5,000	
1月	368,820	10,848	19,070	4,120	158,927
2月	351,110	10,327	18,820	2,870	138,129
3月	351,090	10,326	18,980	3,860	141,421
合計	4,605,260	135,450	232,120	45,240	1,336,734
平均	383,772	11,288	19,343	3,770	111,395

※パート・アルバイトについては本人へ直接支給される。

(4) 給食

- ①自治会で利用者本人から出た意見をメニューに反映しながら、選択給食も充実させていく。  
→ 選択メニューに反映できた。また写真を集めてメニュー表を作成したい。
- ②グループで話し合い、地元の飲食店を利用して名物や特産物を知り、楽しむ。  
→ 中止
- ③四季を感じながら楽しく美味しく食べられるよう装飾や演出を行う。
- ④栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

熱量	蛋白質	炭水化物	脂肪	カルシウム	ビタミン		
					B1	B2	C
719Kal	28.3g	93.9g	23.8g	154mg	0.5mg	0.4mg	47mg

(5) 自治会活動

利用者が日々感じている事を発信する場を提供し、要望などを具体化するための支援を行なう。また自分の意見が取り上げられるという体験を通し、日課に興味を持ち積極的に過ごす事ができるよう支援していく。

- コロナで行事がほとんど中止になった中でどのようにみどりの森で過ごすのか等話し合った。各々の意見を聞き取り皆がコロナをどう思っているかなど話し合った。夏には熱中症対策、後期クラブ活動と係活動の聞き取り等を行った。
- ・ 毎回その時期に合った内容を考え、話し合いに進めていけたのが良かった。
- ・ 時間短縮して行った。テーマごとに少人数で実施することもやっていきたい。
- ・ 定期的にでき、伝えたい事や意見の吸い上げができていた。

(6) 行事

①クラブ活動（隔月実施）

→・コロナ対策としてボウリング、お風呂を中止し「買い物」「物づくり」「ダンス（フラダンス）」に変更して実施した。

種目	主な活動場所	結 果
ダンス	みどりの森 作業室	10/13, 12/1, 1/5 ・フラダンスを3つのステップを練習し、謳いながら踊るフラダンスを習った「Peally Shell」等、歌を覚えて上手に踊ることができた。継続したい。ずっと人気がありニーズが高かった。
物づくり	福祉センター	10/13, 12/1, 1/5 ・各回とても集中して製作する姿が見られた。また多くの人が「やった～！」と笑顔で作品を見せ合う様子が良かった。
買い物・カフェ	イオンモール 他	10/13, 12/1, 1/5 ・いろいろなところに行って個々に楽しんだ。買い物は、事前に決めて実施したい。

② 年間行事

日付	内容	場所	目的	人数
5月	日帰りバス旅行（保護者参加）→中止			
6/10	Tボール大会→中止			
7/14, 21	防災体験	立川防災館	社会資源を利用し実践的な防災体験を行なう	46名
8/11	暑気払い	東村山サンパル ネ→みどりの森	お祭りの雰囲気を楽しみながら、買い物体験をする。また市内飲食店のデリバリーを活用し、地域に貢献する。	45名
9/8	諏訪町運動会→中止			
10月	八国山フリーマーケット→中止			
10/20	G外出「キウイ狩り」	野の幸奈良山園	地域にある果物狩りを体験し、それぞれが担う役割を責任をもって果たしながらグループで行動する。	18名
11/5	共催運動会→みどりの森スポーツ大会	少年野球場	コロナ禍の運動不足を解消し、楽しみながらできる運動場面を提供し、充実した時間を過ごす	44名
11月	宿泊旅行→中止			
11/10	G外出「みかん狩り」①	小林農園	地域にある果物狩りを体験し、それぞれが担う役割を責任をもって果たしながらグループで行動する。	12名
11/17	G外出「みかん狩り」②	小林農園	地域にある果物狩りを体験し、それぞれが担う役割を責任をもって果たしながらグループで行動する。	12名
12/3～9	福祉の集い→パネルのみ参加	東村山中央公民館	みどりの森の活動を知っていただく。	
12/26	クリスマス会	福祉センター	日々過ごす仲間で1年間の労をねぎらい、クリスマスの映像や食事で季節を感じて振り返る。	43名
1/19	成人を祝う会	福祉センター	人生の節目として、勤続を祝う	43名
1月	施設まつり→中止			
3/8	いちご狩り	みどりの森	新たな移動行事の形を模索するため、旅行会社の企画する出張いちご体験を行う。グループ内で感想を伝え、その意見を次年度以降に活かす。	44名
3/19	納会	東村山サンパル ネ→みどりの森	1年間を振り返り、利用者に思った事を表現してもらう場とする。	45名

## 7. 防災訓練

### (1) 防災

- ①防災計画に基づき月1回防災訓練を実施する他、年に1回防災館でのリアルな防災体験に参加して意識を高める。また災害備蓄食料を使った防災体験も年間計画に盛り込んで実施する。  
→・防災食体験は、配布にとどまった。防災館は行事として楽しんでいた。
  - ・短時間、密にならないように実施。寄付された備蓄食料の配布も行った。みどりの備蓄食料の期限確認、来年度入れ替えを予定。
- ②地域の自治会、福祉協力員等関係機関と連携し、非常時に相互支援ができる協力体制をとる。  
→・コロナのため実施できなかった。
  - ・集まることはできなかったが、折に触れて立ち寄り近況報告など行うことができた。

### (2) リスクマネジメント

- ①事故対応マニュアルを施設内・車両に常備し、緊急時に対応できるようにしておく。また毎日乗車前に車両と運転者の状態を確認する。  
→・講習会で頂いたマニュアルを利用し、車両点検等も毎回行った。
  - ・事故対応マニュアルは、車両に常備。運転者の状態確認は、朝の朝礼時に実施確認。法人にて、安全運転講習を実施した。
- ②構造化された安全な環境作りのため、常に整理整頓を実施、定期的な大掃除を行う。  
→・大掃除は計画的に実施できた
  - ・新しい作業が始まり、動線が確保できないほど作業が入る場面があった。
  - ・使ったものを元に戻すことが徹底できていなかった。
- ③安全運転管理者を中心に職員の運転チェックを年1回程度行い、安全運転への意識を恒常化していく。  
→・実施できた。気になるところは随時行った。
  - ・研修を通して安全運転の意識付けができた。厳罰化が進んでいるので要注意。

## 8. 地域との交流

- ①基本方針で謳った地域の有効な社会資源として、相互利益のある関係を作る。  
→・コロナのため関わりを保つのが難しかった。交流ができず、残念だった。
- ②諏訪町地域懇談会に積極的に参加し、社協他関係団体と連携を図り、ボランティアとしても受け入れていく。  
→・懇談会中止となった
  - ・毎日のボランティアが来られなくなり、とても残念だった。
- ③玄関前に設置した掲示板を活用し、山鳩会やみどりの森の活動、利用者に対する理解を深める。  
→・毎月みどり便りの交換、法人広報紙の交換を行った。必ず玄関前に毎日設置できるように係活動に入れるなど工夫したい。
  - ・設置する向きによっては読めない時があったので、読む人の事を考えて置いた方が良い。

## 9. 実習生の受け入れ

- (1) 特別支援学校・在宅者の受け入れを行ない将来の進路選択につながる機会を提供する。  
→・清瀬特別支援学校より1名受け入れた。状況を見ながら定期的に受け入れたい。その際利

用者が実習生に不適切な態度をとる場面があり、今後の課題となった。

- ・山鳩会全体で清瀬特別支援学校より見学会を実施した。

(2) 大学からの実習を受け入れ、将来福祉の職場で働く人を増やすよう育成に努める。

→ 受け入れ中止

## 10. 父母会、親の会との連携

### (1) 父母会

①保護者会を開いて施設に対する理解を深め、また個別面談（年1回）や保護者参加の行事を通して、相互に情報交換と交流を図る。

→ ・保護者会はコロナのため福祉センターに場所を変更して実施した。

- ・コロナ対策で会場を福祉センターに移したため、保護者会後に担当ケースの家庭での様子を聞いたり、ちょっとした情報収集ができなかったのが残念だった。

②みどりの森便りを月1回発行し、施設の日常の様子を伝えていく。

→ ・行事の少ない中、日常の様子が良く伝えられていたとの感想を頂いた。

- ・保護者に内容の募集をして反映できたのが良かった。また行いたい。

- ・発行日が一定せず大変だったが、写真付きで分かりやすく、ご家庭でも楽しみにしていたと意見を頂いた。

### (2) 親の会

行事部会を中心に、双方の連携を図り、円滑に進めていく。

→実施中

## 11. 職員研修

①福祉職員として現場で活かせる専門分野の知識や技術を習得する。

→ ・社会福祉事業者人権研修を2名受ける事ができた。グループ討議はとても勉強になった。

- ・中止になるものも多かったが、ウェブでの研修には積極的に参加した。

- ・人権研修でのグループ討議など、とても勉強になった。職場で共有できた。

②研修部会を中心にした全体研修会で法人の方針などを確認すると共に、施設間の交流や情報交換を行なう。

→ ・部会を通じて法人内部での交流が深まったと思う。

- ・コロナ禍の為、リモート研修実施。懇親会等も控えている。

研修名	実施日	主催	実施場所	参加者
全体職員研修	4/2	社会福祉法人山鳩会	ひなたの道食堂	全員
全体職員研修	10/1	社会福祉法人山鳩会	みどりの森食堂 (ZOOMにて)	全員
社会福祉事業従事者人権研修【Ⅱ】	10/12	福祉保健局生活福祉部地域福祉課	福祉医療研修センター	原久美子
社会福祉事業従事者人権研修【Ⅱ】	10/30	福祉保健局生活福祉部地域福祉課	福祉医療研修センター	柳葉ひかり
安全運転講習	11/11	社会福祉法人山鳩会	あきつの園	運転者
安全運転講習	11/17	社会福祉法人山鳩会	ひなたの道	運転者

安全運転管理者講習	12/2	東京都交通安全協会	昭島市民会館	田中英史
時間の構造化	1/18	東京都社会福祉協議会	みどりの森 (Web 研修)	真崎ひろみ
認知症の基本的理解とケアの視点	2/2	東京都社会福祉協議会	みどりの森 (Web 研修)	白水楓子
福祉職のためのメンタルヘルス講習会	2/15	東京都社会福祉協議会	みどりの森 (Web 研修)	前森直美
安全運転講習	2/16	社会福祉法人山鳩会	みどりの森 (Web 研修)	運転者
安全運転講習	2/17	社会福祉法人山鳩会	みどりの森 (Web 研修)	運転者

## 12. 会議

種 目	回 数	内 容
職員会議	1回/月	運営全般について →・効率を意識して時間を短縮し、確実に実施できた。
評価・アセスメント会議	2回/年	アセスメントの見直し、個別支援計画等検討 →・時間の確保が難しかったが確実にできるよう全体で意識したい。
給食会議	1回/月	メニューや利用者からの要望についての検討 →・厨房と連携し、確実にできているので職員への伝達をきちんとしたい。 ・実施できたが情報共有が難しかった。 ・利用者の希望が叶えられるようになった。 ・献立と実際が違うことがある。
ケース会議	3回/月	・延期する事も多かった。意識して行いたい。 ・予定変更はあったが確実にいった。
自主生産会議	1回/月	自主生産について検討

## 13. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、セクシャルハラスメント防止

### (1) 苦情解決

①規定に基づき問題が発生した時は親切丁寧迅速に対応し、問題解決にあたる。

→今年度場面なし

②担当窓口及び第三者委員を設置し、丁寧に対応する。

### (2) 個人情報保護

規定、個人情報提供同意書に基づき、個人の情報を提供する際は慎重に取り扱い、データの管理を適切且つ安全に取り扱う。

→・個人情報についてはシュレッダーにかけて外部に出ないよう取り扱った。

### (3) 虐待防止

法人研修部会を中心に取り組み、また担当者を設置して利用者の人権を守り、主体性を尊重した支援を行なう。

→・虐待防止研修に職員2名が参加した

#### (4) セクシャルハラスメント防止

男女一人ずつ担当者进行、防止・対応にあたる。

##### 苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	真崎 ひろみ	042-395-3210
担当者	前森 直美	同上
第三者委員	赤木 ふき子	同上

##### セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	真崎 ひろみ	042-395-3210
担当者（男性）	田中 英史	同上
担当者（女性）	柳葉 ひかり	同上

##### 虐待防止

	氏名	連絡先
責任者	真崎 ひろみ	042-395-3210
担当者	小嶋 啓介	同上

#### 14. 人事考課

目標面接	中間面接	10月
	期末面接	3月
振り返りシート		3月